

コーディング規約

1. 共通

1-1. フォルダ構成は下記を参考に構成する

プロジェクトフォルダ

→htmlファイル ※ページごとに作成

imgフォルダ

→画像ファイル各種

jsフォルダ

→script.jsファイル ※ページごとに作成

sassフォルダ

→_mixin.scssファイル

style.scssファイル

cssフォルダ

→style.cssファイル ※sassファイルから自動生成

1-2. デザインについてはデザインガイドラインに遵守する。

デザインガイドラインが存在しない場合は、要作成。

1-3. インデントは半角スペース4文字分で記載し、tab

1-4. コミットメッセージは先頭に識別子を用いて、下記のように設定する

※コミットに至った経緯などがわかる識別子(チケットNo.など)を末尾につけると尚良し

"識別子_修正概要_チケットNo."

【先頭識別子】

feat	新機能
fix	バグの修正
docs	ドキュメントのみの変更
style	コードの動作に影響しない、 見た目だけの変更(スペース、フォーマット、欠落の修正など)
refactor	バグの修正や機能の追加ではないコードの変更
perf	パフォーマンスを向上させるコードの変更
test	不足しているテストの追加や既存のテストの修正
chore	ビルドプロセスやドキュメント生成などの補助ツールやライブラリの変更

例】feat_歌詞表示ページ(lyric.html)を新設_0001

2. HTML

2-1. ファイル名は名前を見ればどのようなページが見当がつくように設定する

※indexの連番などはNG

2-2. ドキュメントタイプはHTML5を指定する

※「<!DOCTYPE html>」を指定

2-3. エンコーディングはUTF-8を指定する

※「<meta charset="UTF-8">」を指定

2-4.ビューポートを設定する

※基本的に

「<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">」を指定

2-5.リセットCSSを設定する

※基本的に

「<link rel="stylesheet" href="<https://unpkg.com/ress/dist/ress.min.css>">」を指定

2-6.OGP設定は下記を設定する

```
<meta property="og:url" content=" ページの URL" />
<meta property="og:type" content=" ページの種類" />
<meta property="og:title" content=" ページのタイトル" />
<meta property="og:description" content=" ページの説明文" />
<meta property="og:site_name" content="サイト名" />
<meta property="og:image" content=" サムネイル画像の URL" />
```

2-7.コメントはインデントを合わせて<!-- XXX -->の形式で記載する

※可読性を考え、コーディング行の右側には記載しない

2-8.JavaScriptなどの設定は、読み込み不備を回避するため</body>の直上にて行う

2-9.クラスの設定はタグの直後に行う

例】<div class = "XXX" ~>

2-10.クラス名はBEMIに則った名前を設定する

2-11.imgを使用した場合はaltを記載する

※altで設定する内容が重複することは問題ない

2-12.imgの画像指定時に、"/"を使用しない

3.CSS(SASS)

3-1.メディアクエリの設定には@mixin、@includeを使用する

3-2.コメントは/* XXX */の形式で記載する

※コーディング行の右側に記載する場合は、49列目に記載する

3-3.font-family設定時は、最右に「sans-serif」を指定する

4.JavaScript

4-1.実行不備を回避するために、window.onload = function() { }は原則使用禁止

4-2.変数名はキャメルケース記法で記載する

4-3.再宣言によるバグを回避するためにvarでの変数定義は原則禁止

4-4.コメントは// XXXの形式で記載する

※可読性を考え、コーディング行の右側には記載しない